

女子準決勝A					
2022年7月10日(日) 9:00~					
会場 美幌スポーツセンター					
結果	北見市立小泉中	63	16 - 12 13 - 12 18 - 13 16 - 19 -	56	佐呂間・端野中
審判	主審 山口		副審 中坪利実		味噌小夏



【個人トータル表】 ×=スターティングメンバー / =出場選手 空欄=出場なし

北見市立小泉中									
NO	選手氏名	PI-in	得点	3P	2P	FT	DR	OR	反則
4	赤坂 ひなた								
5	鈴木 菜々美	×	9	2	1	1	3		1
6	長瀬 莉麻	×	6		3		6		1
7	廣瀬 彩羽								
8	尾形 珠里								
9	岡田 望愛	×	12		5	2	3		
10	谷 日葵								
11	横山 怜奈								
12	伊藤 比菜	×	18	1	7	1	2		3
13	佐々木 碧	×	18		8	2	6	4	3
14	福田 奈央	/	0						
15	沖崎 花恋								
16	小松 由依	/	0						2
17	土田 春日								
18	平野 流凜								
C	岩本 竜育								
合計			63	3	24	6	20	4	10

佐呂間・端野中									
NO	選手氏名	PI-in	得点	3P	2P	FT	DR	OR	反則
4	長岡 茜	×	9	3			1		2
5	堀口 楓乃音	×	10		5		4	6	1
6	湯浅 芽衣	×	21	1	9		5	2	1
7	氏家 莉亜	×	16		7	2	4	1	2
8	田中 来実								
9	本間 爽弓	×	0				2	1	3
10	田中 愛莉								
11	野津 音華								
12	宮下 心花								
13	山内 唯愛								
14	鈴木 遥								
15	0								
16	0								
17	0								
18	0								
C	梅原 朋華								
合計			56	4	21	2	16	10	9

3P=3ポイントシュート 2P=2ポイントシュート FT=フリースロー DR=ディフェンスリバウンド OR=オフェンスリバウンド

【ゲームレポート】

1Q  
小泉⑤⑥⑨⑫⑬、端野・佐呂間④⑤⑥⑦⑨でスタート。小泉は⑫の3p、⑬の速攻で先制。端佐は⑦へのピックを起点に攻めるも、シュートがリングに嫌われる。タイムアウト後、端佐は④の3p、⑥の1対1で反撃。点差を縮める。小泉はパスを効果的に回しながらスペースを見つけて1対1で攻める。16-12小泉リードで終了。

2Q  
小泉は足を使ったディフェンスから速攻につなげていく。端佐は⑥のジャンプシュートで対応。小泉はフリーでシュートを打つも、ことごとくリングに嫌われてしまう。端佐は、我慢強くリバウンドやルーズボールを拾い加点していく。29-24小泉リードで終了。

3Q  
小泉は⑬のスピナムーブで先制。⑬のピックに⑨のドライブで加点。小泉はオールコートディフェンスで仕掛け、テンポを上げる。端佐のボール運びに苦労する時間が増える。両チームとも積極的にディフェンスを仕掛けるが、思うように点数が伸びない。47-37小泉リードで終了。

4Q  
小泉はオフェンスリバウンドに積極的に絡み、シュートチャンスを増やしていく。④の3p、⑫のジャンプシュートで加点。端佐も④の3pで加点。小泉は、スペーシングを上手に使ったパッシングオフェンスで点数を伸ばす。⑫、⑬で加点。端佐はオールコートディフェンスを仕掛ける。⑥の3pで反撃。点差を縮めていく。小泉も⑬のジャンプシュートで対抗。63-56小泉の勝利。

北見市立光星中学校 大槻 武

女子準決勝B						
2022年7月10日(日) 9:00~						
会場 美幌スポーツセンター						
結果	北見市立北中	52	11 - 18 13 - 7 18 - 18 10 - 11 -	54	北見市立南中	
審判	主審	宇野貞喜	副審	千葉	優矢	



【個人トータル表】 ×=スターティングメンバー / =出場選手 空欄=出場なし

北見市立北中									
NO	選手氏名	PI-in	得点	3P	2P	FT	DR	OR	反則
4	鴨田 さと	×	24	2	8	2	2		3
5	片山 花和	×	14		6	2			4
6	田名部 沙希	×	0						2
7	戸村 望乃	×	8	2	1		4		4
8	伊藤 奏陽香	/	3	1			1		
9	佐藤 陽菜子	×	2		1		4	2	2
10	中山 日々華	/	1			1	2	2	2
11	山崎 心羅								
12	深瀬 歩乃果	/	0				1		2
13	久保木 彩渚								
14	竹江 麗來								
15	仲野 一栞								
16	鈴木 友菜								
17									
18									
C	蝦名 智規								
合計			52	5	16	5	14	4	19

北見市立南中									
NO	選手氏名	PI-in	得点	3P	2P	FT	DR	OR	反則
4	鴻池 華倫	×	5	1	1				1
5	吉野 樹里								
6	高橋 琉華	×	36	4	8	8	5	1	2
7	川原 歩花	×	2		1		2		1
8	阪田 来羽	×	3	1			1		5
9	乾 心春彩	/	4		2			1	
10	松尾 優菜								
11	黒須 千愛								
12	玉木 紗愛								
13	上池 禾恩	×	4		1	2			1
14	松尾 優月								
15	和美 彩香								
16	久保田愛梨								
17									
18									
C	大浦 幸一								
合計			54	6	13	10	8	2	10

3P=3ポイントシュート 2P=2ポイントシュート FT=フリースロー DR=ディフェンスリバウンド OR=オフェンスリバウンド

【ゲームレポート】

1Q  
北見北④⑤⑥⑦⑨、北見南④⑥⑦⑧⑬でスタート。  
南は⑥ドライブからのショットで先制、その後も連続得点。北はアウトサイドシュートから⑤のリバウンドショットなどでの得点。南の1対1を止められず、11-4の7点ビハインドで、北は4分でタイムアウト。  
タイムアウト明け、北のディフェンスはヘルプディフェンスを徹底し、相手のドライブを止める。その後、北の④のバスケットカウントで4点差に追いつくも、南の3Pやリバウンドショットで再び離され、18-11南リードで1Q終了。

2Q  
南⑦の速攻レイアップで先制。北④のドライブからジャンプシュートで返す。さらに④の3Pで4点差に。その後⑤のバスケットカウントで20-18と2点差になり、残り5分南がタイムアウト。タイムアウト明け、北の④の1対1からの得点で同点に。南はハイピックから⑥のドライブで攻める。北のオフェンスに対して、リバウンドを徹底して回収する。北はパスランからの2対2中心に④が1対1でのシュートで返す。一時、北がリードするものの、残り2分南が逆転し、25-24、南リードで2Q終了。

3Q  
北⑩のフリースローで同点に。南の⑥の3Pで逆転。フリースローで5点差にリードを広げる。南の⑥連続3P成功で9点差まで離すが、北⑤のミドル、④の3Pで差を縮める。その後、北⑦の速攻ジャンプシュートで1点差。南⑥の3本目の3Pで再び離すなど、一進一退の攻防が続く。残り1分、北⑤のリバウンドで逆転。南⑥のフリースロー成功で再び南が逆転。そのまま1点リードのまま、43-42で南がリードで3Q終了。

4Q  
開始直後、北⑧の3Pで逆転。南⑥フリースローで1点差に。北は⑤のリバウンドショットで3点差に離す。さらに④のバスケットカウントで点差は6点。北はファウルが目立ち、残り4分でチームファウルが5つとなる。その後、南のレイアップ、フリースローで3点までリードを縮める。2分30秒、北のタイムアウト。その後南⑥のフリースローで点差は2点に。1分30秒、北④のドライブで逆転するも、南⑥がバスケットカウントで同点のシュートを決める。北のファウルから再び南のフリースローを2本とも沈め、2点リード。そのまま逃げ切り、54-52 南の勝利で決勝進出を決めた。  
北見市立東相内中学校 中西 麻人

男子準決勝A						
2022年7月10日(日) 10:30~						
会場 美幌スポーツセンター						
結果	北見市立南中	67	22 - 15 12 - 11 10 - 8 23 - 15	49	斜里町立斜里中	
審判	主審	田村亮太	副審	菊池学	村田基和	



【個人トータル表】 ×=スターティングメンバー / =出場選手 空欄=出場なし

北見市立南中									
NO	選手氏名	PI-in	得点	3P	2P	FT	DR	OR	反則
4	國方 大志	/	2		1		2		1
5	齊藤 琉星	×	6		2	2	1	1	1
6	高橋 瑛大	×	0						4
7	前田 貫太								
8	保科 好良	×	4		1	2	4	3	
9									
10	佐々木 煌生	×	17	1	5	4	6		4
11	伊藤 一鷺	×	19		8	3			1
12	森 秀野	/	8	2	1				1
13	小野 蒼汰	/	0						
14	井上 颯人	/	3	1					1
15	青木 蓮								
16									
17									
18	中原 正人	/	8	2	1		1		2
C	伊藤 浩司								
合計			67	6	19	11	14	4	15

斜里町立斜里中									
NO	選手氏名	PI-in	得点	3P	2P	FT	DR	OR	反則
4	森田 海威	×	11	1	1	6	2		1
5	泉谷 琉仁	×	6		3		7		2
6	居石 慧	×	0				2		5
7	鈴木 玲央	×	21	5	3				2
8	川島結優歩								
9	高橋 信宗	×	5	1	1		2	1	4
10	小野寺亮太								
11	河田 惇	/	6		3		3	1	3
12	桑島 蓮								
13	梅田 賀								
14	邊見 琉生								
15									
16									
17									
18									
C	勝又 光								
合計			49	7	11	6	16	2	17

3P=3ポイントシュート 2P=2ポイントシュート FT=フリースロー DR=ディフェンスリバウンド OR=オフェンスリバウンド

【ゲームレポート】

1Q  
白⑤⑥⑧⑩⑪、黒④⑤⑥⑦⑨、黒は白のドライブに対し、ヘルプを強め、タフショットを打たせる。黒5が連続ゴールを決め、0-4とするが、開始2分半で黒6が3つ目のファール。一進一退の攻防が続くが、白の3Pで13-11と逆転する。その後、白11が黒6のドリブルをスティールし、それを止めに行った黒6が5ファールで退場した。残り1分40秒で白11がバスケットカウントをとり、黒はタイムアウトを取り、立て直そうとする。22-15で白リード。

2Q  
白⑤⑥⑧⑩⑪、黒④⑤⑦⑨⑪、黒は2Q開始から果敢にドライブをするが、白のヘルプにつかまり、ターンオーバーを繰り返す。白11、白10がドライブ&キックを繰り返し、チーム全体で3Pを打ち続けることで、黒はドライブを止めるのも苦しくなってくる。2Q終了間際、黒がゴール下で粘り強さを見せ、34-26で白リード。

3Q  
白⑤⑥⑧⑩⑪、黒④⑤⑦⑨⑪、開始3分、白11の2P、黒7の3P、黒4の3Pで38-32とする。黒11がリバウンドショットを決め、4点差とするが、白18がすぐさま3Pを決め、41-34。その後、白のショットが決まり、44-34で3Q終了。

4Q  
白⑤⑥⑩⑪⑬、黒④⑤⑦⑨⑪、4Q開始後、白11バスケットカウントをとる。1分後白10がバスケットカウントをとり、3Pプレイ。その後、白5、11の速攻が決まる。開始1分半で19分点リード。その後も白5、10、11のレイアップが決まる。黒9が3Pを決め、59-39とするが、流れは変わらず67-49で白の勝利。  
北見市立高栄中学校 桑原 翔

男子準決勝B					
2022年7月10日(日) 10:30~					
会場 美幌スポーツセンター					
結果	北見市立北中	56	19 - 15 11 - 21 10 - 15 16 - 9	60	北見市立小泉中
審判	主審	増子昌元	副審	堀畑竣平	田尾優樹



【個人トータル表】 ×=スターティングメンバー / =出場選手 空欄=出場なし

北見市立北中									
NO	選手氏名	PI-in	得点	3P	2P	FT	DR	OR	反則
4	川田 零	×	21	2	7	1	2	3	1
5	田中 拳斗	×	2		1				3
6	林 陽希	×	13	1	5				4
7	三浦 充貴	×	15		7	1	3	5	1
8	尾張 圭太郎	/	2		1				1
9	平 龍輝	×	3		1	1		1	2
10	尾張 綾太								
11	佐藤 威球								
12	山口 夏樹								
13	渋谷 真遼								
14	伏見 峻								
15	田畠 玄季								
16	林 大翔								
17	石川 暁士								
18	中右 薫								
C	蝦名 智規								
合計			56	3	22	3	5	9	12

北見市立小泉中									
NO	選手氏名	PI-in	得点	3P	2P	FT	DR	OR	反則
4	山内 海凜	×	22	3	5	3	1		
5	太田 陽翔								
6	南 耀太	×	11	3	1		2		4
7	上杉 純矢	×	7		3	1	1	1	2
8	十倉 稜空	×	8		4		1	3	2
9	河合 柚太	×	3		1	1			
10	澤田 然太								
11	信本 律斗								
12	小山田 琉	/	9	1	2	2	1		1
13	0								
14	佐々木 広太郎								
15	0								
16	竹中 優騎								
17	神戸 凱成								
18	渡辺 楓太								
C	岩本 竜育								
合計			60	7	16	7	6	4	9

3P=3ポイントシュート 2P=2ポイントシュート FT=フリースロー DR=ディフェンスリバウンド OR=オフェンスリバウンド

【ゲームレポート】

1Q  
白④⑤⑥⑦⑨、青④⑥⑦⑧⑨でスタート。立ち上がり青9のドライブからのフローターショットで先制。すかさず白4のスリーでお返し。主導権を握りたい両チーム。果敢に攻め続けるも、点を取ったら取られて5分の展開。残り1分50秒、白9のドライブに青9がファウルで止めに行くも、決めきりバスカン。青タイムアウトで流れを切りに行くも、フリースローを決めきり、続いて速攻も決め、連続得点。青もインサイドを中心に丁寧にオフェンスを試みるも、白4点リードで1Q終了。

2Q  
立ち上がり、スクリーンプレイを多用し、白7への合わせで得点。しかし、青はそのインサイドへのパスを狙い、スティールから速攻を仕掛ける。2Qに入っても点の取り合いは変わらない。4分、青6のスリーポイントが当たり始め、青が逆転。青がリードを5点に広げたところで白タイムアウト。このあとも青の勢いは止まらない。オフェンスが機能し始めた青はディフェンスの圧力も増す。青がリードを6点に広げ、白30-青36で前半終了。

3Q  
3Q開始直後さらにリードを広げようとする青、ディフェンスをオールコートで仕掛けるなど、ますます圧力を強める。青4のスリー、青12がバスカンを決めるなど主導権を握る。白4と7のインサイドの合わせで、反撃を試みるも、流れは青。残り4分30秒、白タイムアウト。しかし流れは変わらず、青がリードを11点に広げる。白40-青51で3Q終了。

4Q  
青のスリーポイントが止まり、リバウンドを回収し、速攻を決められる。白は落ち着いて2本返すも、青もそれまでの速攻主体のオフェンスからテンポを落とし、雰囲気を変え得点を重ねることでリードを保つ。時間の経過とともに、外からのシュートが増えてきた白。そのリバウンドを回収するも、得点に繋がれない青。打開策を図りたい白は残り4分でタイムアウト。ディフェンスのプレッシャーを強め、追い上げを狙う。残り2分、白はオールコートであたり、6点差まで追い上げる。点を詰められていく青。リードが逆にプレッシャーになりターンオーバー。白3点差まで追い上げるも届かず、逆にファウルを取られる結果になり白56-青60で小泉勝利。果敢に点を取りに行く姿勢は見る人を引きつける好ゲームであった。勝利して小泉は決勝での健闘を期待したい。

美幌町立美幌中学校 須藤 一雅

女子決勝					
2022年7月10日(日) 12:00~					
会場 美幌スポーツセンター					
結果	北見市立小泉中	70	12 - 17 16 - 24 19 - 16 23 - 18 -	75	北見市立南中
審判	主審	宇野貞喜	副審	田内勇太	味噌小夏



【個人トータル表】 ×=スターティングメンバー / =出場選手 空欄=出場なし

北見市立小泉中									
NO	選手氏名	PI-in	得点	3P	2P	FT	DR	OR	反則
4	赤坂 ひなた								
5	鈴木 菜々美	×	11	3	1				4
6	長瀬 莉麻	×	16		8		3	1	4
7	廣瀬 彩羽	/	6		1	4	2		
8	尾形 珠里								
9	岡田 望愛	×	2		1		2		3
10	谷 日葵								
11	横山 怜奈								
12	伊藤 比菜	×	10		4	2	1		5
13	佐々木 碧	×	23	3	4	6	6		4
14	福田 奈央	/	2		1				
15	沖崎 花恋								
16	小松 由依								
17	土田 春日	/	0				1		
18	平野 流凜								
C	岩本 竜育								
合計			70	6	20	12	15	1	20

北見市立南中									
NO	選手氏名	PI-in	得点	3P	2P	FT	DR	OR	反則
4	鴻池 華倫	×	3	1				3	4
5	吉野 樹里	/	0						3
6	高橋 琉華	×	49	2	15	13	7	1	2
7	川原 歩花	×	2		1		1	1	4
8	阪田 来羽	×	6		3		5	1	4
9	乾 心春彩	/	7	1	2			1	
10	松尾 優菜								
11	黒須 千愛								
12	玉木 紗愛								
13	上池 禾恩	×	8		4		3		1
14	松尾 優月								
15	和美 彩香								
16	久保田愛梨								
17	0								
18	0								
C	大浦 幸一								
合計			75	4	25	13	16	7	18

3P=3ポイントシュート 2P=2ポイントシュート FT=フリースロー DR=ディフェンスリバウンド OR=オフェンスリバウンド

【ゲームレポート】

1Q  
小泉⑤⑥⑨⑫⑬、南④⑤⑦⑧⑬でスタート。南は⑦の個人技で連続得点。3pも決まりリズムを掴む。小泉も⑥のドライブで返す。南の強いあたりになかなか小泉はペースを掴めない。南は⑨のミドルシュートも決まり、17-12で南リードで終了。

2Q  
南は⑥の1対1、リバウンドを確実に回収し⑥の速攻で連続得点する。小泉は⑦のシュート、フリースローでつなぐ。⑬の速攻も決まり、リズムを掴む。両チームとも、走るバスケットを展開し、一進一退が続く。南は⑥のドライブ、④の3pが決まり41-28 南リードで終了。

3Q  
小泉はオールコートディフェンスでスタート。ディフェンスのスティールが決まり、⑫のジャンプシュート、⑤の3pで加点。南はディフェンスコンタクトで小泉のドライブを止める。両チームともディフェンスからの速攻で得点を重ねていく。57-47南リードで終了。

4Q  
小泉は⑥を起点に⑬、⑫で連続加点。⑬の速攻も決まり、流れを変える。南も⑥のオールコート1対1で対抗。⑬フローターシュートも決まる。南はディフェンスを粘り強く行い、速攻から加点していく。75-70で南の勝利。

北見市立光星中学校 大槻 武

男子決勝					
2022年7月10日(日) 13:30~					
会場 美幌スポーツセンター					
結果	北見市立南中	63	11 - 17 16 - 7 12 - 10 24 - 7 -	41	北見市立小泉中
審判	主審	菊池伸幸	副審	小久保哲哉	田尾優樹



【個人トータル表】 ×=スターティングメンバー / =出場選手 空欄=出場なし

北見市立南中									
NO	選手氏名	PI-in	得点	3P	2P	FT	DR	OR	反則
4	國方 大志								
5	齊藤 琉星	×	7		3	1	1		1
6	高橋 瑛大	×	0						
7	前田 貫太								
8	保科 好良	×	22		10	2	2		1
9									
10	佐々木 煌生	×	9	1	3		2	2	2
11	伊藤 一鷺	×	20	3	3	5	4	1	4
12	森 秀野	/	5	1	1				
13	小野 蒼汰								
14	井上 颯人								
15	青木 蓮								
16									
17									
18	中原 正人								
C	伊藤 浩司								
合計			63	5	20	8	9	3	8

北見市立小泉中									
NO	選手氏名	PI-in	得点	3P	2P	FT	DR	OR	反則
4	山内 海凜	×	23	3	7			5	1
5	太田 陽翔	/	0						1
6	南 耀太	×	6	1	1	1	1	1	
7	上杉 純矢	×	4		2		5	2	3
8	十倉 稜空	×	4		2		5	1	4
9	河合 柚太	×	4		2			1	3
10	澤田 然太								
11	信本 律斗								
12	小山田 琉	/	0						1
13									
14	佐々木 広太郎								
15									
16	竹中 優騎								
17	神戸 凱成								
18	渡辺 楓太								
C	岩本 竜育								
合計			41	4	14	1	16	5	13

3P=3ポイントシュート 2P=2ポイントシュート FT=フリースロー DR=ディフェンスリバウンド OR=オフェンスリバウンド

【ゲームレポート】

1Q  
小泉④⑥⑦⑧⑨ 南⑩⑪⑫⑬⑭でスタート。両チームハーフコートマンツーマンディフェンスからスタート。先制点は小泉⑩のドライブからのショット。対する南は⑩のドライブ、3pが決まり、落ち着いた試合を展開する。残り5分、2-5で南3点リード。小泉はイン・アウトのパス回してシュートチャンスを伺う。残り4分、4-10で南リード。南は店舗の良いパス回しから加点していく。小泉は⑩、⑩のピックプレーで少しずつ点差を縮めていく。残り1分、ついに小泉が逆転、14-10。小泉⑩、⑩、⑩の速いドライブがききはじめる。攻撃の足を止めなかった小泉が1Q、17-10の7点リードで終了。

2Q  
小泉は⑩を中心にオフェンスを組み立て、南はドリブルハンドオフの連続からシュートチャンスを伺う展開。南は⑩がなんとか小泉⑩にポストプレーをさせないため、必死のディフェンスを試みる。残り4分21-17で小泉リード。南はドライブとキックアウトから3pを打つが決まらず、小泉⑩のディフェンスリバウンドを回収されてしまう。残り2分、南⑩のドリブルロールターンシュートが決まり、流れが変わり始めた。残り1分22秒、24-22わずかに小泉2点リード。南の激しいディフェンスに対してオフェンスに迷いが出始めた小泉。小泉タイムアウト。ファウルが重なり、流れを変えることができない。残り1分、南⑩が3pを決め、南が1点リードの展開となった。南がターンオーバーで3点差をつける。2Q終了。24-27。

3Q  
南中⑯⑰⑱⑲⑳、小泉中㉑㉒㉓㉔㉕で後半開始。小泉⑩のミドルショット、ドライブで連続得点。残り5分28-27で小泉1点リード。対する南中も⑩のポストプレーでバスケットカウント、主導権を握らせない。小泉⑩の3Pが決まり、残り3分34-29で小泉リード。南中は⑩のDリバウンドからドリブル速攻で流れを引き戻す。南中の激しいDFに勢いが増す。南中⑩がフリースローを決め、南中再逆転34-35。小泉⑩が4ファウルだが、コートに残る。ここにきて小泉⑩もファウル。小泉中はなんとかファウルトラブルを断ち切りたい。南中は⑩のドライブスクリーンからの合わせでシュートチャンスを作るも、小泉中はなかなかパスが回らない。残り30秒、南中は⑩の3Pが決まる。やや小泉中の足が止まり始める。3Q終了、34-39で南中5点リード。

4Q  
流れをつかみたい小泉中は⑩にボールを集める。南中は⑩の3Pでつきはなしにかかる。⑩の速攻ロールターンシュートも決まり、残り6分12点リード。小泉中はたまたまタイムアウト。キラのあるドライブに、小泉中はカバーDFで対応しようとするが、南中のローリングドライブによってくずされてしまう。小泉中はオフボールの動きが少なく、⑩がドライブからシュートを試みるも得点できない。逆に南中はリバウンドからのカウンター、⑩の3Pで攻勢の手を緩めない。残り3分38-55で南中17点リード。南中⑩のドライブに小泉⑩のDFが抜かれてしまう場面が出てきた。小泉中はDFから速攻につなげられない。小泉⑩の3Pが決まり、残り1分41-59。南中はオールコートマンツーマンディフェンス、ミス誘い、連続加点。最後まで攻守の気持ちをきらさなかった南中が41-63で優勝を飾った。全道大会でのさらなる飛躍を期待したい。北見市立北中学校 蛸名 智規